

平成26年度第2回日進市障害者自立支援協議会議事録

日 時： 平成26年7月28日（月）13時30分～15時15分

場 所： 日進市中央福祉センター多機能室北

出席者： 19名

加藤委員、竹内委員、脇田委員、林委員、二村委員、山田委員、柴田委員、手嶋委員、坂委員、森委員、三好委員、中村委員、長谷川了示委員、長谷川厚委員、伊藤委員、青山委員、梶浦委員、佐藤委員、保竹委員

アドバイザー：川上氏（尾張東部圏域アドバイザー）

事務局 福祉部：加藤部長

福祉課：水野課長、川本主幹、小出課長補佐、小塚係長、小野主事

障害者福祉センター：宮田、熊谷、伊藤、山、角、満田、山本、堀之内

欠席者： 5名 金山委員、坂委員、田中委員、川上（智宏）委員、住田委員

議 事

情報提供

1. 日進市障害福祉計画の策定について
2. 日進市障害福祉計画アンケート調査報告書について
3. 日進市移動支援に関する調査研究等報告書について
4. その他

事 務 局	定刻の時間になりましたので、平成26年度第2回日進市障害者自立支援協議会を開催いたします。 本日、5名の委員から、欠席の連絡をいただいております。 本協議会設置要綱第6条第3項において、会の成立には半数以上の出席が必要となっており、19名のご出席をいただいております。よって、本日の会議は成立します。それでは、手嶋会長よりあいさつをお願いします。
会 長	こんにちは。猛暑の日が毎日続いています。日本がどうにかならないかと心配なくらい暑いですが、今日の議論も負けなくらい熱い議論をよろしくをお願いします。
事 務 局	それでは、この後の進行につきましては手嶋会長をお願いします。
会 長	議事に入る前に、本日の会議の傍聴についてですが、事務局に伺います。
事 務 局	傍聴の方はありません。

<p>会 長</p>	<p>それでは、会議を進めたいと思いますが、次第に基づきまして協議会を進めさせていただきます。</p> <p>次第 1 について、川上アドバイザーに国や県、圏域の動向についてお話いただきたいと思います。</p>
<p>アドバイザー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者虐待について <p>職場での虐待 253 事業所で 393 人にのぼるが、数字が少ないようにも思う。知的障害者を最低賃金以下の賃金で働かせていたケースが多い。本人の届・通報・立ち入りなどで明らかになった例が上がっている。詳細はホームページをご覧ください。</p> ・グループホームの整備促進について <p>運営説明会を開催した。300 人近い希望があり、各会場 2 回ずつ行った。グループホームの見学会、9 名いる支援コーディネーターの派遣を計画している。8 月 25 日長久手市でコーディネーター学習会を開催する。</p> ・思春期の性についての講演会 <p>7 月に木全先生（日本福祉大学）の性についての講演を東郷町で行った。8 月にも木全先生が障害者相談センターで講演があるが、申し込みは終了している。</p> ・精神科病床の転換について <p>日本は精神科病床が 30 万を超えており、先進国の中でも突出して多い。症状が改善されても地域に戻ることができない「社会的入院」が多くなっている。厚労省のありかた検討会で、病床の削減に向けて、退院者の受け皿として病床を居住施設へという案が挙げられているが、敷地内での退院は地域で暮らすことにならないと患者や家族団体から反対が出ている。</p> ・名古屋駅周辺ホームレスの 6 割が精神疾患を持っているについて <p>精神・知的障害がありながら支援を受けていない人が相当数いると思われる。調査したところ、18 人の男性のうち 11 人に精神疾患があった。</p> ・障害福祉サービス報酬改定について <p>不正請求が多い。請求のあいだに第三者機関が入らないといったシステム上の問題もある。来年度の報酬改定（減算）で対応を考えているとのこと。</p> ・特別支援教育を受ける児童生徒が増加について <p>2014 年で、「特別支援教育」に移行してから 8 年目となる。少子化にもかかわらず対象児童・生徒が増加している。「きめ細やかな対応が得られる特別支援学校・学級を選ぶ保護者が増えている」からとのこと。</p>

<p>委 員</p>	<p>・精神疾患の新名称について 日本精神神経学会より、DSM-5の日本語訳が公表された。「障害」を「症」に改めるなど変更がされている。</p> <p>一番目の虐待のところで、「障害者」という言葉が使われているが、ひとくくりにするのはどうかと思う。また、2の報酬改定について、減算としているが、各障害者団体やNPOの連合会では実態の調査をしている。減算では意味が異なってくるのでは。逆に、報酬を上げてほしい思いもある。アドバイザーの中では問題になっているのか。</p>
<p>アドバイザー</p>	<p>不正を行うごく少数の事業所のために全体が減算となるのは疑問があるため、請求システム自体に不備があるのではないかとということで、不備自体を検討してほしいと、アドバイザー会議や県自立支援協議会で発言があり、国への提言に向けて動いていきたい。</p>
<p>会 長</p>	<p>議題（1）障害福祉計画の策定状況について、事務局より説明願います。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>（事前配布資料1-1、1-2、1-3により説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月に開催した検討部会の報告 ・発達障害の発生頻度や健診でフォローされている人数を考慮すると潜在的ニーズは高いため、発達が気になる児童に関して整理を行った。 ・近隣自治体における障害福祉サービスの状況比較から、本市は、障害児系サービスが充実し、訪問系サービスや就労系サービスが特に弱い状況にある。 ・市独自の成果目標案を検討している。 など
<p>会 長</p>	<p>この3年間どこに重点を置いていくのか、目安となる資料と言える。これは報告になりますので、採決はとりませんが、ただいまの報告についてご質問がありますか。</p> <p>（質問なし）</p>
<p>会 長</p>	<p>議題（2）日進市障害福祉計画アンケート調査報告（案）について、事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	<p>(障害福祉計画アンケート調査報告により説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4種類のアンケート調査を実施。利用者用、一般用、事業所用、支援団体用の4種類。 ・ 回収率は4種類合計で、発送件数2,736件に対し、回収件数1,326件。回収率は48.46%。 ・ 今後、国が作成した「障害福祉計画策定に係る実態調査及びPDCAサイクルに関するマニュアル」を参考に利用意向率等を算出し、近年の障害者数の伸びなどを参考に活動指標を設定する。
会長	<p>誤字等、気が付きましたらご協力ください。説明としては難しいが、ここをもう少し簡単に説明してほしいでも結構ですので、ご質問があればいただきたい。</p> <p>この件について、ご意見ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>利用必要率とか、利用意向率という数字がとても小さい数字で、これがどういう意味か分からなかったのと、果たしてこの数字がサービス量として考える時に有効となる数字なのか？</p>
事務局	<p>ここで出た利用意向率と必要率を全てこれで考えるわけではない。手帳の交付率の伸び等も考慮すべきと考えているが、この率の算出はPDCAマニュアルを参考した。居宅介護を参考に説明すると、ページの一番下にある潜在的利用率は0.37とある。</p> <p>マニュアルにある5%が0.37にあたる。マニュアルでは、潜在的にサービス支給決定を受けていない方の数が230人となる。この230人を単純に足すのではなく、計算方法は、実際利用している方の実績に、過去実績からの伸びを加えた数字に、230人を按分した数字を加えることで、サービスの必要量を算出する。これが全てとは思っていないが参考としてこういうものを使うということになる。</p>
会長	<p>足りるか足りないかということではなく、最低これは必要という根拠になると思う。このサービスは通常の市町村だと手帳所持者のみ。日進市はサービス利用者を当事者としてアンケートをしている。また、一般にもアンケート実施し、手帳取得者を割り出しているの精度としては高いと思う。他にご質問あれば。</p>
会長	<p>議題(3)日進市移動支援に関する調査研究等の報告について事務局より説明願います。</p>

事務局	<p>(事前配布資料2により説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の移動支援として適した支援は、市の地域特性から「都市型」グループに分類され、福祉有償運送サービスの形態が有力な候補。 ・利用者側としても福祉有償運送サービスが利用しやすい。 ・くるりんばすをふくめ、市内全体の移動支援の在り方について検討していく。本年度に調査を実施し、地域交通の計画を策定する。 ・障害福祉計画のアンケート調査で、運転ボランティアのニーズが高い。特に男性のニーズが高く、今後活用できる方策を考えていく。
会長	<p>ただいまの説明に関して、ご質問、ご意見等ございますか。</p> <p>「都市型」ということで、日進市を一つにまとめて分類していると思うが、赤池周辺・日進駅周辺など日進市内で生活の便利さが地域ごとで違うように思う。全体として都市型と分類するうえでの工夫や課題はあるでしょうか。</p>
事務局	<p>調査の母数も必ずしも十分ではない。クロス集計もできていない。どこまでの傾向がつかめるかといった課題はある。今回はそこまでは踏み込まれていないが、市全体でみると都市型と言えるところのこと。</p>
会長	<p>32ページより、各地域を主成分分析し、そこで日進市のグループでの位置づけを行っているという理解でよいか。</p>
事務局	<p>その通りです。</p>
会長	<p>36ページより、日進市に一番近いグループはどこか。</p>
事務局	<p>愛知県であれば清須市・知立市に近い。東京都であれば国分寺、西東京、武蔵野市に近い。</p>
会長	<p>議題(4)その他について、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>2点報告します。</p> <p>1. 移動困難者・移動支援に関する報告書について</p> <p>今年度もアンケートがある。去年は435部のアンケートを配布し、基礎調査を行った。今年度は9～10月実施予定。内容は、日進市の地域公共交通に関する計画策定のアンケート。地域公共交通会が実施し、市の生活安全課が事務局となる。生活安全課が計画をつくっていく。移動困難な(障害・高齢者)に関してもア</p>

ンケート調査を行っていく。対象の方は、今後変更がありうるが、15歳以上の市民5,400人、障害者手帳所持・介護認定受けている方3,000人。交通に関するアンケートということで配布し協力を仰ぐ。路線バス、くるりんバス、交通体系全体のありかたについてのアンケートとなる。障害・高齢の移動困難者については、基礎調査を踏まえてより具体的な設問を考えている。本市に合った移動の仕組みについて検討していく材料としたい。届いた方にはご協力をお願いしたい。

2. 障害者基本計画の後期計画の主な事業の一覧

前は実施したものについて報告。今回は今後実施していく事業について報告する。

- ・ グループホーム整備の支援は26年度から県の助成制度も活用できるよう支援していく。
- ・ 親同士の交流の場の提供、発達が気になる子、サービス利用していない子どもの家族の交流の機会は27年度から。
- ・ 一般就労や見守りのコーディネーター27年度から。
- ・ 推進体制の見直しは27年度から。計画策定評価委員を休止し、より効率的に効果的に推進していく。
- ・ 虐待防止ネットワークは設置済み。
- ・ 情報提供の充実を図る障害福祉に関するホームページは28年度までに作成。
- ・ 乳幼児期から就学前における支援、交流し、専門員の助言が受けられる場を27年度設置。
- ・ 健康診査25年度から。
- ・ 合理的配慮に対する意識啓発は28年度から。
- ・ 生活訓練・生活サポート事業の検討、生活に不安定な面がある方（昼夜逆転など）、就労を目指す方へのサポートは28年度から。
- ・ 就労支援事業所の開設支援は今年度事業所の募集を行う。
- ・ 優先発注は今年度情報提供・周知を行う。
- ・ 合理的配慮に対する意識啓発、スポーツ・文化活動など28年度から。
- ・ バリアフリー化は昨年度から勉強会を行っている。
- ・ 当事者団体活動支援は夏休み対策事業を見直し27年度から障害者を含めた事業とする。
- ・ 人材育成支援員、ボランティアの人員配置は28年度から。
- ・ 連携した移動支援、福祉有償運送サービスなどは、27年度から仕組みについて具体的に実施。
- ・ 合理的配慮に関するパンフレット作成は28年度から。要領

	<p>策定28年度から。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉活動の推進は、現在第二次計画を策定中。 ・ 災害時要援護者地域支援制度の周知は、以前から取り組んでおり今後も継続する。 ・ 緊急通報サービスは今年度からしんの福祉に掲載。 ・ 支援マニュアルの配布 防災時の支援マニュアル、現在各小中学校に配布している。 ・ 緊急警報器の設置、障害のある人が集まる公共施設などにおいて、回転灯などのついた警報機の設置を中央・障害者福祉センターに今年度設置予定。 ・ 居室確保事業 緊急時に利用できる施設、あゆみ、あいあいの家が昨年度すでに登録されている。今年度から中央福祉センターも登録。 <p>現時点では福祉課としての考えで今後は企画・財政部局と協議をして決定していく流れであり、変更はあり得るのでご理解ください。</p>
委員	<p>保健所で精神障害者の相談・地域移行定着を受けているが、法改正で地域支援を積極的に取り組むようにとされている。病気が安定しているが引き取り手がおらず10年以上入院されている方がたくさんいる。瀬戸保健所管轄内のグループホームは70床しかなく、未整備。グループホームの整備を特にお願いしたい。</p>
事務局	<p>現時点では2事業所から相談を受けている。四期の計画で具体的な数値目標を設定していく。</p>
委員	<p>グループホームの整備に関連して、事業の対象が事業所となっている。知的障害の子どもがおり、入所しているが、自分の子どもの入所している施設が動いているという体験をしている。支援は、助成制度の活用にとどまりますか？</p> <p>グループホームの整備促進について、なぜ増えないのか、増やすにはどうしたらいいか、日進市でも参考になる意見があれば教えていただきたい。事業所に対する役所の支援だけではなく、必要なポイントがあれば教えていただきたい。市内の入所施設ができるときも補助金が出されているが、具体的に今後助成金が活用できそうか。</p>
事務局	<p>後期計画に基づくグループホームの整備事業は、県との兼ね合いもある。最終的には県の判断になるが、実現するために力を尽くすと言えない面がある。事業所と協力して努力していきたい。</p>

アドバイザー	<p>無償対応だが、市の補助などがあると実現されやすい。経験的にやったことがない事業であるため、コーディネーターを派遣したりしている。ハード面としては建築基準の緩和を行ったりしている。これまでに受けている質問としては、夜勤体制のためスタッフ確保や養成、シフトの組み方など。反対運動もあるため、地域社会への受け込みのノウハウを教えてほしい。避難訓練や人員配置などソフト面が厳しくなり、具体的説明をしてほしい。物件探しのノウハウを教えてほしい。県営住宅を借りる手順。資金繰りについて。など、多種多様な質問が説明会で出ているため、Q&A形式でまとめてほしいという要望も出ている。</p>
会 長	<p>その他で事務局ありますか。</p>
事 務 局	<p>チャレンジド夏祭りチラシの説明。 毎年夏休みに行っている。今年も8月23日土曜日に行うため、チラシを配布させていただいた。竹の山自治会と合同開催の予定。一般用駐車場は用意していない。障害がある方については、別途駐車券を配布するため、ご理解いただきたい。</p>
委 員	<p>ひかりの人々展チラシの説明。 今年第4回。毎回各福祉団体や高齢者に作品を出していただいている。一般の方々にひかりを与えるものという意味でひかりの人々展と名付けている。8月30日、31日の二日間、市民会館のホールで行う。作品募集を受け付けている。絵画だけでなく、陶芸や手芸・沙織など、いろいろな作品をお送りいただければ。ポスターもいろいろなところに貼っていただければ。日進市障害児夏休み等対策事業・市政20周年記念事業としても行っている。</p>
会 長	<p>ではこれで議事を終了します。</p>
事 務 局	<p>会長ありがとうございました。次回の協議会は9月29日（月）午後1時30分から、会場は未定、中央福祉センターか障害者福祉センターです。詳細は開催通知でご確認ください。 では、これで、第2回日進市障害者自立支援協議会を終了します。ありがとうございました。</p>